

令和6年度 第3回大正区地域福祉推進会議（令和7年2月28日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
1	<p>(大正区地域福祉ビジョンver.3について) 大正区地域福祉ビジョンというのは、福祉という大きな構え方で、福祉ビジョンでいいのではないかと思う。 何故、地域が入っているのか。大正区地域なのか、地域福祉なのか、福祉なのか。 例えば福祉計画があって、その中に地域福祉ビジョンなど、計画が分かれていっても良いと思うので、このビジョンは全体などして、福祉で良いのではないか。</p>	藤田委員	<p>3ページに「地域福祉」の理念を記載しておりますが、このビジョンは、大正区にお住いの方、働いておられる方なども含めて、地域にお住いのすべての方が福祉を安心して受けられることを念頭に方向性を定めたものですので、福祉制度に関する計画というよりは、お住いの方の暮らしを豊かにしていくためということで、地域福祉という言葉を使っています。</p> <p>大阪市のほかの福祉計画では、例えば高齢者福祉計画や障がい者福祉計画など分かれていますが、このビジョンについては、その中でも地域福祉にスポットを当てたビジョンとしています。</p>	貴志課長	—	
			<p>大阪市の計画も大阪市地域福祉基本計画といっており、大阪市地域福祉基本計画が各区の地域福祉計画と一体で事業を実施していくことと、社会福祉法で各自治体が地域福祉計画を作ることになっているので、法律上、地域福祉の計画という位置付けになっております。</p>	北吉副区長		
2	<p>(大正区地域福祉ビジョンver.3について) 直接的なデータから引っ張ってきてている文言は、その下にこのページのグラフが根拠になっていると書いておくと、確認しやすいと思う。こういう冊子を見られる方は、文章のところだけ読んで、前のグラフを読み飛ばす方が多いと思うので、下にどこを参考にしているかを書いておけば、グラフを見てもらったり、大正区の実態というところに目を向ける機会になると思う。</p>	鈴木委員長	<p>ご指摘のとおり、どこの統計データなのかの記載がありませんでしたので、記載いたします。</p>	貴志課長	—	

令和6年度 第3回大正区地域福祉推進会議（令和7年2月28日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
3	<p>(大正区の生活困窮者支援の状況について) 大正区は、年配の方が多く、基本的に60歳、65歳で定年を迎える、契約社員および非正規で働くことになるため、給料は正社員の方に比べると6割ぐらいに落ちると聞いている。例えば頑張って働いても月15万ぐらいで、そこから税金など引かれると生活はできないという方が結構多いと思う。物価高などもあり、これからますます、困窮者は増えていくことを考えると、この問題は国全体で考えていく必要があると感じる。</p>	中山委員	—	—	<p>生活困窮者は、経済的な問題のみならず複数の課題を抱えていることが多いため、施策分野ごとに支援機関が関わるだけでは解決に繋がらないことから、支援機関の連携による包括的かつ適切な支援を行う必要があります。</p> <p>区役所としましても、引き続き分野横断的な会議を開催のうえ、複合的な課題を抱える方が包括的な支援につながるよう支援するとともに、区社協や民生委員・児童委員等と密に連携し、総合的な相談支援体制の充実を図ってまいります。</p>	
4	<p>(大正区の生活困窮者支援の状況について) 大正区は昨今、高齢の方のご相談を受けることが多いという話だったが、職探しに来られるのは男性、女性ではどちらの比率が多いのか。また、地域の様々な会議に出席しても、男性が出てこない、どうしているのか分からぬというご意見をどの地域でも課題のように伺うことがあるが、職を探しておられる方が、なぜ職を探していらっしゃるのかという背景要因が分かれば教えてほしい。</p>	松田委員	<p>男性、女性偏りなく、就労支援の相談に来られます。20歳代の方と違って、インターネットにアクセスしづらくて仕事を探しに来たという方も結構いらっしゃいます。</p> <p>生活困窮者相談に来られて、元気で働ける方には就労支援をご案内しますが、高齢で健康状態が思わしくない方には就労支援ではなく、ほかのプランをご案内することもあります。</p> <p>相談に来られる方々の背景には様々な要因があるので、しっかりと状況を聴き取ったうえで、その方にふさわしいプランを組み合わせて支援しています。</p>	谷上係長	—	